

Hands^{some}me

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中田耕治 編集責任者 島山広幸 制作・編集 33期広報委員会 印刷所 東京印刷㈱

11月例会

平成19年11月14日（水） 米子全日空ホテル



朝晩どこか肌寒く感じるようになった11月半ば、環境委員会主催のもと11月例会が開かれました。中田会長のあいさつに続き、新しく入会された株式会社富士オートメーションの高塚康治さんに、バッジ授与が行われました。「他業種の経営者・幹部が集う当会で、自分の考えを他人に伝える修練をし、さまざまな価値観を吸収したい。」頼もしいあいさつが印象的でした。

委員長タイムは、総務委員会の手島委員長。前々から只者ではない(?)とっておりましたが、今まで26カ国という膨大な量の国で世界中の文化に触れられた国際色あふれる一面を披露していただきました。自らの経営戦略を桶狭間の戦いに例え「勝てる試合方法で試合をするのが経営者の仕事」という言葉が強く心に残りましたが、同時に今のお姿からは想像できない、体脂肪率3パーセントの学生時代の写真が、個人的には激しく印象的でした。



さて、11月例会の内容は「自然との共生」です。当会OBでもある、奥森隆夫氏と、足立徹氏をパネリストにお招きしての、パネルディスカッションが山口英俊会員と川端今日子会員との滑らかなコーディネートによって行われました。

れざる神秘的な生態をご紹介していただき、ご自身が設立されたNPO法人で、地域の子どもや大人といっしょにどのような活動をされているのかを、文字通り“熱く”語っていただきました。



全世界規模で地球環境保護が叫ばれる昨今、四面を美しい山と海に囲まれた山陰の自然を、どのような形で守っていくのかという問題は、地元で経済人として活動する我々にとっても非常に重要なテーマを含んでいます。また子どもや孫に、かつては数多く生息していた動植物の生態系を取り戻す意味でも、さらに真剣に取り組んでいく必要があるでしょう。

長年にわたって、ご自身の足で実際に川に入り希少動物と触れてきた両OBのお話には、多くのヒントが含まれていました。“人間の活動は「悪」ではない。私たちの生活によって、都市型の生態系になくってはならない影響、というものもある。”という足立OBの言葉が、私にとってはとりわけ心に残った例会でした。

両OBには、鳥取県内で指定された、「特定希少野生動植物」の知ら

記事：松本

鳥取県西部中小企業青年中央会 上海視察研修レポート



鳥取県西部を円の中心にすると、中国・韓国が短距離に入るのが良くわかります。日本の首都圏ばかりを気にかけるのではなく、2010年の万博開催に沸く上海を11月16日から18日の3日間、研修視察してまいりました。

急速な経済発展の波を目の当たりにしたメンバーはOBをあわせ9名でした。青年中央会で行く視察は異業種のメンバーだからこそ多角的視点から観察でき、大変有意義で収穫もあつたと言えます。

到着後早速でしたが上海万博開催地を展望しました。といっても地平線が見えるくらい広く、直接投資額30億ドル、総面積400ヘクタールで、8,500世帯25,500人が立ち退きし、予想入場者数4,300万人から7,000万人ということで、中国らしいというか予想にかなり開きがあり無限大の可能性を感じさせますし、一瞬にして立ち退かせる国力には唖然です。

国際食品見本市は、世界の食のPR合戦で、日本からは21都道府県の約50の食品業者が日本の米や魚介類などの美味しさをアピールしており、鳥取県からは、倉吉の地酒の出展でした。米の価格でいくと、日本で5千円のもの

日本産というだけで4万8千円で完売輸入待ち状態という中国マーケットですので、ビジネスチャンスは他人事ではありません。会場全部はとて回りきれないくらい出展数も多く、あわせて膨大な「試飲・試食」のパレードで世界を味わったようにおもいます。

杭州の西湖は、自然と人間が共存し計画的に作り出した絶景です。中国の古今の人々のエコリズムと計画的に経済効果を生ませている事を感じて帰りました。

その他報告は尽きませんが、上海は、中国でも最も発展している都市であり、中国全土の中でも、企業・工場などが集中しているところです。日本だけでなく欧米の一流企業のほとんどが上海を拠点としており、その意味でも中国への視察はこの上海が重要なところであり、経済人として一度は体感すべきだと思います。

記事：増井幸一

委員会活動 地域ビジョン委員会



あなたは、「鳥取県西部の名物(食べ物)は？」と聞かれたら何と答えるだろうか？

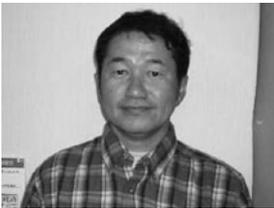
「食」。それは人間にとって生きるうえで必要不可欠なものであり、時には人を喜ばせ、楽しませる事のできるものでもある。ある先輩会員が、「山陰は、海・山・川に囲まれ立地が良すぎ、素材に恵まれすぎたために『調理』する方法が進歩しなかった」と言われていたことがあるが、我々、地域ビジョン委員会のテーマは、まさにそこにある。

毎月、担当メンバーが「山陰の名物」になりうる素材を探し出し、メンバーに振舞う。カニの甲羅を器にしたカニ飯などの「カニ三昧セット」、鱈を素材にカルパッチョ・干物・甘露煮・南蛮漬け・ハンバーグの「鱈三昧フルコース」、そば粉にこだわり抜いた「そばセット」、イノシシの「ジンギスカンコー

ス」などなど。試食したあと、調理方法、提供方法、値段、ランチなのかディナーなのか、提供場所、年齢層等を考え、他のメンバーと意見交換しながら試行錯誤し、地元の方にも観光客の方にも喜んで頂ける、ここでしか食べられない名物の商品化を目指している。これらをどういう形で世に出すかは、これからの課題である。

最後に、誤解のないように言わせて頂きたい。我々が、ただ美味しいものを食べ歩いているわけではない、ということ。そして、何ヶ月か後に、皆生の某ホテルや朝日町の某炉端の店に「手書き」でメニューが追加されているかもしれないことを。

OB訪問



28期卒会
小林 慎一OB

社名変更されたそうですね。

今年の5月1日に山陰テントからアクティブプロに社名変更しました。いままでテント屋さん看板を作るのが主体でしたがいろいろなイベントの運営をすることが多くなり5年位前から考えていましたが一大決心をしました。その際には大勢の方々にお世話になりました。これからこの事業を伸ばしていくことでお世話になった皆様に恩返ししていきたいとおもっています。

入会のきっかけは？

ローターアクトクラブの卒業を機に、同級生十数名が経済団体に入会しようということになりました。3団体に分かれて活動しようということになり自分は中央会を選びました。当時、経済団体に入って将来自分たちがいい年になった頃きつと面白いことが出来るのではないかとのおもいがありました。

今、現役に戻れるとしたら何をしたいですか？

いろいろあります。どうしたら地元の人・物・金が落ちるのかシュミレーションし、何かしら陳情してみたいです。例えば韓国からの観光を考えても面白いとおもいます。

中央会でためになったことは何ですか？

副会長、委員長、トライアスロンのボランティア部長を経験させてもらったことはすごくためになりました。特に副会長の時には挨拶する機会も多く、しっかりとしたことを喋れるよう新聞等を読んで勉強しました。それが今でも役に立っています。また、人のまとめ方、中央会の会員として外部の方とのコミュニケーションの取り方など勉強になりました。

現役会員へのアドバイスをおねがいします。

中央会をより魅力のある組織にしてほしい。内部だけでなく外部とのコミュニケーションやネットワーク作りも必要だと思います。また、甘え方が下手かなと思うこともあります。ゴマをするとかではなく、もっと上手に甘えてほしいとおもいます(笑)。

お忙しいところ長時間取材させていただきありがとうございました。
小林OBの前向きな発想は取材させていただいてすごく勉強になりました。
若い頃の酒の席での楽しいお話も聞かせていただきましたが、この話はまたの機会に。
記事：高野

Creative&Action

「いま挑戦していること」

内藤 幸一会員



「いま挑戦していること」について書かせていただきます。私は保険業界に身を置いています。保険業界にいる人間が「いま挑戦していること」として「地域No.1を目指します!」と申し上げてしまうと、違和感を感じられる方も

いらっしゃるかとおもいますが、弊社の保険を通してきつとご契約者のお役に立てることがあるんだという信念を私は持っています。

保険会社の中には様々な職務がありますが、いまの職務をやっていることと決めたきっかけが2つあります。その1つが、飛込みで保険営業をしていた時のことです。同業他社にご加入されていた方から、「君に任せるよ。」とおっしゃって弊社の保険に切り替えていただいたとき、こんな私でも人から信頼されるんだと感じたこと。保険は決して安い買い物ではありません。この方からご自身の将来を任せられた気分にもなりました。もう1つが、保険金支払の手続きをさせていただいた際、亡くなられた方の奥様から、涙を流しながら「ありがとうございました。」と感謝された時。弊社の仕事を通じてここまで感謝されることがあるんだと感じたこと。この2つが私のいまの仕事をやっている原点です。

最後になりましたが、中央会会員の皆様には当社の職員を通じ日頃大変お世話になっております、この場をお借りし御礼を申し上げたく、そして今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

県青中の動き

県青年中央会第3回役員会が下記日程にて行われました。

日時 平成19年11月21日(水) 18:30~20:30

場所 中部「セントパレス倉吉」

- (1) 県出向研修会報告の件
- (2) 親睦事業報告の件
- (3) 第59回全国大会懇親会報告の件

委員長副委員長交流会の件

- ・日時：平成20年1月26日(土) 15:00~
 - ・会場：鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい温泉 羽衣
 - ・委員長テーマ：『各地区の例会のあり方と魅力ある例会作り』(案)
 - ・副委員長テーマ：『委員会をどの様にもりあげるか?』(案)
 - ・目的：県交流事業の一環である委員長・副委員長交流会は各地区の方が一堂に会し各地区各委員会の活動を認識し、将来の展望、当会の今後のあり方について考え、意思統一を図る事を目的とする。
- 委員長副委員長交流会の詳しい内容については県出向役員にお尋ね下さい。

中央会アーカイブス

「朝日町異聞抄」

当会会員の夜のプレイグラウンドと言え言わずと知れた「朝日町・角盤町」境界であるが、今回はそこの飲み屋にまつわるちょっと不思議な体験をふたつ御紹介しようと思う。尚、店名は敢えて伏せさせていただくことを御了承願いたい。

(其ノ壹)「わけありの店」

その店は朝日町通りの中程に立つ古い雑居ビルの4階にあった。製菓メーカーの若い担当者と飲んでいる時に「実はかなりヤバめなんですけど面白い店があるんです！」と誘われたのがきっかけであった。件の店は店名の表示すら無い如何にも怪しげな佇まいであったが中に入ると黒服のボーイが当り前の様に我々を店の奥へと案内し、その後は「こんなのアリ？」という程妖しく楽しい時間を過ごしたのであった。具体的な内容は×××…

これに味をしめ、後日当会のU田会員と再び店を訪れると扉に貼り紙が…「都合により、しばらく休業致します。」ってそんな殺生なッ！そのくせ中に明らかなの人の気配がするのである。納得のいかない我々は扉を叩いたり、ノブをガチャガチャしながら「開けろ〜！！」と叫んでもまるで反応ナシ。その後不意を突いて1時間おきに急襲したのだがその夜扉が開かれる事はついに無かった。

諦めの悪い私は何日後、今度は深夜に一人でフラッと店を訪れてみた。ノブを捻ると何事も無かったかの如く扉が開き、暗い店内に入ると「イラッシャイマセ、センジツハシツレイシマシタ…」あの時のボーイが薄笑いを浮かべて立っていた。

(其ノ貳)「二人は確かにそこに居た。」

「朝日町の何処かに深夜にだけ通じる地下道が有る。」といったら皆さんは笑うだろうか？「酔っぱらって夢でも見たんじゃないの？」至極真つ当な御意見ではある。

中央会の何の集まりだったのか今となっては定かではないが、その夜確かに我々「二人」はひどく酔っていた。二次会、三次会と流れて行くうち私とK津会員は気が付くと古ボケた地下道を酩酊状態で歩いていた。時刻は午前3時をとうに回っていたと思う。どうやってそこ迄来たのか憶えていない。地下道は古く色褪せたタイル貼りの様な造りで左右にひなびたスナックが何軒か並んでいた。我々はその中でも一番品の無さそうな(失礼)店に入りカウンターでビールを注文した。店内はどぎつい極彩色で飾られ東南アジアあたりの甘ったるい香りの香りが充滿していた。他に客は居たのだろうか？カウンターの中には朝日町では珍しい西洋風な顔立ちで金髪の女性が一人我々にビールを注いでくれた。あまりにもサイケデリックな空気に一気に酔いが回りすぐに店を出た。そして我々「二人」はよろめきながらも確かにコンクリートの階段を「登って」地上へと戻った。夜が明けかけていた…

と今回は少しホラータッチで書いてみたが真偽の程は皆さん御自身の目で確認していただきたい。お断りしておくが筆者は変なDRUGとかやってませんから、念の為…

記事:花園

今日の一枚



一目見て、何だか分かった方がいたらスゴイ、というマニアックなシロモノです。実は、これは航空自衛隊美保基地のC-1輸送機(いつも米子上空を飛んでるアレです)の後部の扉が開まる直前に内部から撮った写真です。先日、体験搭乗の機会があって乗ったのですが、民間機と同じ程度で考えていた自分は、降りてから友人と食事に行くつもりでした。が、ジェットコースターに30分くらい乗ったような感じで、揺れと気温の変化、さらに降りた際に嗅いだ、アイドリング中のエンジン後部からのケロシン混じりの排気の匂いで、内臓がどうにかなったような感じで、その後2時間くらいは食事どころではありませんでした。普段見慣れているつもりだった機体でも、軍用機への搭乗がどれだけ大変なのかを知る貴重な体験でした。

竹谷友成会員



妻と相談して、来年から子どもを幼稚園に通わせることにし何かと“入り用”なため、今度の年末年始から正月休みをなくすことにいたしました。そこで2日ほど会社をスタッフの方におまかせして、家族で嵐山に紅葉見物としゃれ込んだ、その時の1枚をご紹介します。亀岡まで車で向かい、トロロコ列車で嵐山へ。今年は京都の紅葉が例年より遅れていて、まさに最高のタイミングで満喫することができた訳です。

ただ、個人的には若くて美しい女性と、夜のライトアップされた所を歩きつつ、京懐石を内緒で楽しみたい、とおもったりしないことも無くはありません(笑)。

松本誠二会員

こだわりの逸品

日本で使われる箸の代表的な素材は漆です。漆は英語でJapan。つまり日本を代表する工芸であると、世界が認めていることを意味します。“My箸”を持ち歩こう、と決めたら、この機会にお気に入りの箸を購入してはどうでしょうか。工芸品としての箸の美しさ、その裏にある日本の伝統技術などを見直す機会にもつながります。

また、日本には「迷い箸」「渡し箸」など、やってはいけない箸の使い方を指すさまざまな言葉があります。箸の使い方にとよせて、食事時のさまざまな作法を教えたものです。箸の持ち方、使い方は、日本人にとっての、食のマナーの基本です。“My箸”を持ち

歩き、箸への愛着が湧いてきたら、自然に美しい持ち方や使い方にも関心が湧いてくるでしょう。

自分の箸・・・マイ箸をいつも持ち歩くエコロジーなんて大げさじゃないけど、真っ直ぐな気持ちで食に向き合える気がしてくる・・・

my箸・・・myライフ。使い捨てじゃない気持ち、いつも鞆にある道具。等々。

気軽な気持ちで始めてみるのがいいのかもしれない。

内田隆嗣会員

中央会の思い出

花園 直樹会員

当会OB、A税理士の熱心な(執拗な?)勧めに屈して正直入会したのが8年前。元来団体行動が嫌い体育会系ノリにはついていけない性分の私にとって初めての全員による綱領唱和はドン引きでした。「イイ大人が大きな声出して…」諸先輩方を見ては「なんか目つきの悪いオジさんも居るし、やな会入っちゃったナ〜」そんな私も来年には卒会なんて歳になりました…新入会員さん達からはきっと同じ様に見られてるんでしょネ?けど今は結構好きです中央会!! (一応フォロー…)



専門職業家としての豆知識

須山裕文会員

皆さんご承知のとおり私は醤油屋です。醤油の原料が大豆であるからという理由で、豆知識についての執筆依頼を頂戴したのかは定かではありませんが、私の専門分野(趣味も含む)について少しお話をさせていただきます。

現在、日本全国で醤油屋は約1,900社ありますが、これだけ多くの醤油屋があるということは、醤油という調味料の地域性の高さを物語っています。地方ごとに独特の食材があり、古くからそれに合った醤油が全国で生まれてきたわけですね。鳥取県にも全国に誇る食材がたくさんあります。例えば、日本海ではイカやかきといった海産物が豊富に獲れます。これらを刺身等で食べるのに最適なのが山陰独特の「さいしこみ醤油」で、通常の2倍の手間をかけて醸造されます。醤油を仕込む際、通常は麴に塩水を加えて諸味(もろみ)を造るのですが、さいしこみ醤油の場合は塩水の代わりに生の醤油を加えます(再仕込み)。その結果、旨みの強い濃厚な味に仕上がります。

ご存知の方も多いかとおもいますが、私は様々な趣味を持っています。サーフィン・スノーボード・バイク・魚釣り・山菜採り…、我ながらその数にはびっくりします。中でも魚釣りや山菜採りの様に、自然から食材を集めて食すことにはこの上ない喜びを感じています。淀江の田舎に生まれ育ち、幼い頃からそういった生活を送ってきたからかもしれませんが、食品業界に携わる人間として「食」へのこだわりを持つことは大切であると考えます。それと同時に、誰かにおいしいものを食べさせたいと思う心も、この業界にいるからこそ重要だと感じています。

これからも地元を素晴らしい食材を探し、それに合った醤油・たれを皆さんに提案し続けたいとおもいます。皆さんも気が付いた点がありましたら教えてやってください。

11月度委員会報告

会員力委員会

平成19年11月7日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/11名
議題/・会員拡大について
・4月担当例会について
・新入会員オリエンテーションについて

地域ビジョン委員会

平成19年11月6日(火)於:おばちゃまキッチン 出席者/9名
議題/・商品企画、提案について
企画、提案された商品を試食し意見交換・課題点の議論

環境問題委員会

平成19年11月8日(木)於:ウェルネス・イン・ほうき路 出席者/10名
議題/・11月担当例会について
内容、役割分担最終確認

ビジネス委員会

平成19年11月8日(木)於:ホテルサンルート米子 出席者/10名
議題/・OB交流例会の反省
・情報発信について
・今後の委員会活動について

魅力アクション委員会

平成19年11月6日(火)於:日吉津キャンプ場 出席者/6名
議題/・3月担当例会案について
・砂鉄採集&たたら製鉄による『かんな流し』を検証

政治行政委員会

平成19年11月6日(火)於:こうりん坊 出席者/9名
議題/・高校生アンケート回収確認並びに集計結果報告
・アンケートに関する会員の感想

広報委員会

平成19年11月7日(水)於:レストランぶどうの木 出席者/12名
議題/・ハンサムについて 紙面割付、各担当分担
・HPについて
HPリニューアルの検討
・会員拡大について

総務委員会

平成19年11月8日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/8名
議題/・忘年例会について
内容検討、役割分担

12月役員会報告

12月定例役員会が平成19年12月3日(月)、海潮園にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・11月例会の反省・報告の件
- ・12月例会開催の件・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

12月例会案内

と き:平成19年12月17日(月)
18:55~開会 21:30 閉会
ところ:米子全日空ホテル
内 容:12月忘年例会
テーマ:楽笑(らくしょう)
担 当:総務委員会

編集後記

忘年会シーズンに突入の時期になりました。仕事関係・中央会関係・個人的などで数回あるとおもいます。わたくしでさえ5・6回くらいはあり、財布の心配・メタボの心配で頭を抱えているこの頃であります。おまけに、家族にはあなたは美味しいもの食べれてよいわね!と嫌味をいわれ肩身の狭い12月であります。

私個人の考えでもあるのかもしれませんが、人と酒を飲む・飯を食うというのは大事な事だとおもうのです。ちょっと違うかもしれませんが『同じ釜の飯を食べる』と気持ちで忘年会など参加してまいりました。そのおかげで、独立して6年間どうにかこうにか商売が出来たとおもっております。

皆さんも、メタボと家族と戦いながら12月戦いましょう。(体と相談しながら…)

広報委員会